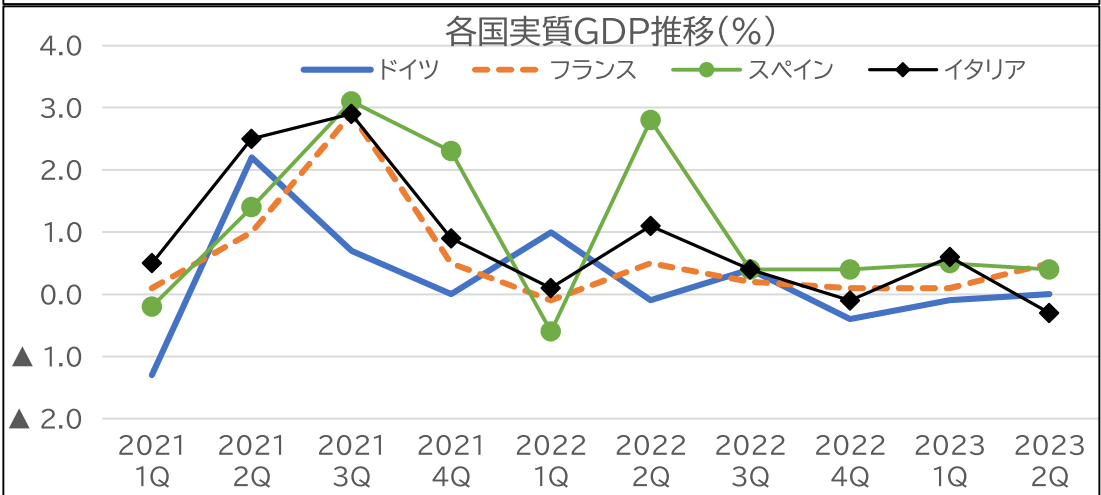
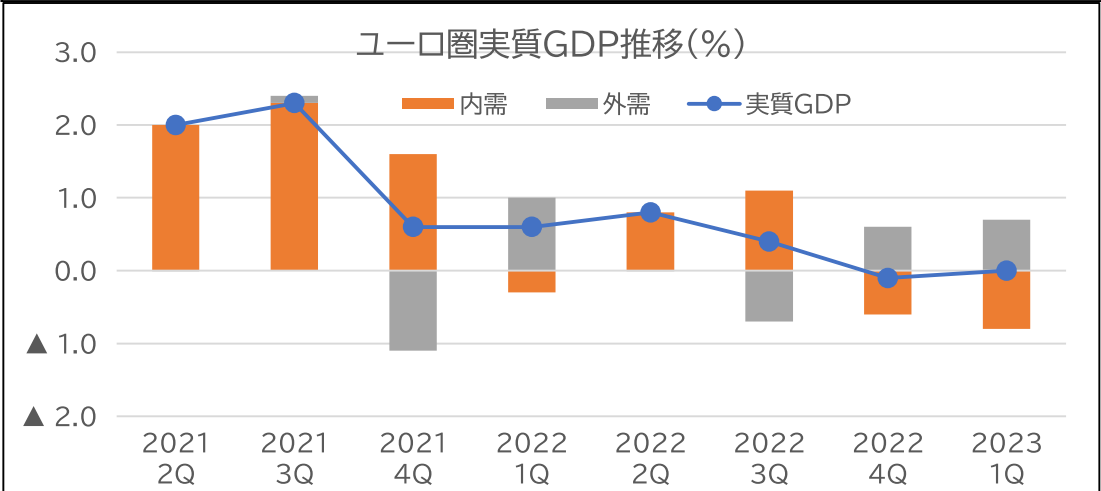


日本・世界の経済

執筆 日本政策総研 主席エコノミスト 村井慎吾  
(監修)北海道大学名誉教授 宮脇 淳  
4-6 月期ユーロ圏 実質 GDP

2023/8/7 第 36 号  
朝日田コーポレーション  
●メールアドレス: info@sapporo-php.co.jp  
●ホームページ: http://www.sapporo-php.co.jp



(資料)Eurostat 資料より作成。

4-6月期のユーロ圏 GDP(一次速報)は、前期比+0.3%と2四半期連続のプラスを維持した。内訳は9月7日まで公表されないが、内需の弱さを外需が補う構図が継続した可能性が高い。

主要国別を、フランスやスペインがプラス成長となる一方、ドイツは横ばい、イタリアはマイナス成長に転じており構成国での成長にバラつきがみられた。

ユーロ圏経済は、物価高で消費が、ECBの利上げの影響により企業活動がそれぞれ弱さを見せていることに加え、経済的な関係性の深い中国の景気失速の影響もあり、今後も低空飛行が継続しよう。